

私が愛したウルトラセブン（1993）

メディア TV

ジャンル 特撮 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

1993/02/13 ~ 1993/02/20

TV放映

土曜日

20:00~21:30

日本放送協会

【解説】

NHK土曜ドラマの枠で2週に分けて放映された作品。脚本家・市川森一の筆により、ウルトラセブン・円谷プロを軸にした特撮創世記の青春群像が、虚実交えながら生き生きと描かれた。前篇「夢で逢った人々」では、アンヌ役の女優の不慮の事故が発端となって、ピット星人の着ぐるみに入っていた女子体育大学生がアンヌ役に選ばれる、モロボシ・ダン役の役者の入籍騒動、上原正三と石川新一との脚本コンペなど、ウルトラセブンの初号試写までの顛末。後篇「夢見る力」では、ベトナム戦争を拒否した脱走米兵を、最終回の仙台ロケに同行させ、ウルトラセブンの着ぐるみに隠して脱走させようとするアンヌやダンたちの話。ファンには有名だった上原正三の未映像化シナリオ「300年間の復讐」が劇中劇の形で映像化されるシーンがあり、トーク星人の着ぐるみも作成されファンを喜ばせた。そのほかにも「ノンマルトの使者」「盗まれたウルトラアイ」「史上最大の侵略（後編）」などの名シーンも、原作(?) そっくりに再現されており、一つの見所となっている。またアンヌ隊員役の田村英里子、モロボシ・ダン役の松村雄基、上原正三役の仲村トオルなど役者陣も熱演。円谷英二役の鈴木清順も、飄々とした味を出していた。ウルトラセブン最終回クランクアップ後になぜか『帰ってきたウルトラマン』挿入歌「怪獣音頭」をみんなで踊るシーンであり、ファンの度肝を抜いた。それをきっかけに踊っている人々が次々消えていき、「消えないで！ 私の夢！」とアンヌが呼びかける、作品のテーマを象徴する印象的なラストシーンが始まる。

【クレジット】

演出 佐藤幹雄

制作 菅野高至

浅野加寿子

作 市川森一

撮影 吉野照久

川崎和彦

土井秋蔵

美術 稲葉寿一

編集 瀬ノ尾義文

振付 坂上道之助

音響効果 田中正男

音楽 宮川彬良

演奏 ウルトラ楽団

擬斗 車邦英

出演 田村英里子

Eriko Tamura アンヌ

松村雄基

ダン

布川敏和

ソガ

仲村トオル		上原正三
佐野史郎		金城哲夫
香川照之		石川新一
田口トモロヲ		高野
別所哲也		坂井卓也
鈴木清順		円谷英二
日向薫		冬木直子
梨本謙次郎		室竜次
財津一郎		三国
畑嶺明		赤井景介
金子美香		内藤弘子
中島陽典		熊谷
ライオネス飛鳥	Lioness Asuka	春子
速見領		キリヤマ
松戸俊二		アマギ
中山正幻		フルハン
塩見三省		満田
天本英世		守衛
伴直弥		文太
上楽敦子		八千代
ライアン・パージェス		マイケル
アンドリュー・J・サッチャー		MP
ひし美ゆり子		詩集売りの女
竹本和正		刑事
浅川仁義		刑事
古賀義弥		ピアニスト
赤木優		